

基礎コリア語Ⅲ

科目ナンバリング KOR-103
必修 1単位

関 由眞

1. 授業の概要(ねらい)

コリア語の文字である「ハングル」の仕組みを理解し、読み方や書き方を習得する。また、基本的な文法事項の体系的な学習を通して、コリア語の基礎を作ることを目的とし、コリア語での簡単なコミュニケーションができるようにする。楽しいコリア語の学習と共に、韓国の歴史や文化に対する関心と理解を深める。(基礎コリア語Ⅰとペアの授業である。)

2. 授業の到達目標

コリア語の基礎をしっかりと整える。

3. 成績評価の方法および基準

課題・発表及び期末試験などを総合して評価する。
平常点(課題・小テスト):50% 期末テスト:50%

4. 教科書・参考文献

教科書
金智賢 著 『教養韓国語初級』 朝日出版社

5. 準備学修の内容

- ①ハングルの短時間で覚えられるよう、読み書きの練習をする。
- ②教科書に付いているCDを聴いて発音練習を行い、学習した内容を暗記する。

6. その他履修上の注意事項

- ①授業で学んだ内容は必ず復習すること。
- ②語彙・簡単な文章は暗記すること。
- ③原則として3分の1以上欠席した場合、成績評価の対象から除外する。
- ④遅刻しないこと。
- ⑤積極的に授業に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ハングルの誕生1／コリア語の一般的特徴／ハングルの仕組み
- 【第2回】 ハングルの文字と発音②
- 【第3回】 「～です」の表現①／助詞①
- 【第4回】 疑問文／名詞否定文の作り方
- 【第5回】 存在詞／位置関係の表現／助詞②
- 【第6回】 「～ます」の表現①／用言丁寧形の活用練習
- 【第7回】 用言否定文の作り方／疑問詞疑問文／助詞③
- 【第8回】 尊敬形の作り方
- 【第9回】 過去時制／接続語尾
- 【第10回】 数詞①:日付の表現／助詞④(オンライン)
- 【第11回】 比較の表現数詞③:1日の日課
- 【第12回】 「～です」／「～ます」の表現②
- 【第13回】 用言の否定形／助詞⑥
- 【第14回】 復習
- 【第15回】 試験とまとめ

注:この授業内容はあくまでも予定であり、変更されることがある。